

私が注目した

U D 新聞

松下 ことみ

一般に「絵文字」「絵単語」などと呼ばれる、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚的記号の一つである。地と図に明度差のある2色を用いて、表したり概念を単純な図として表現する技法が用いられる。

全てのための「デザイン」を意味し、年齢や障がいの有無・体格・性別

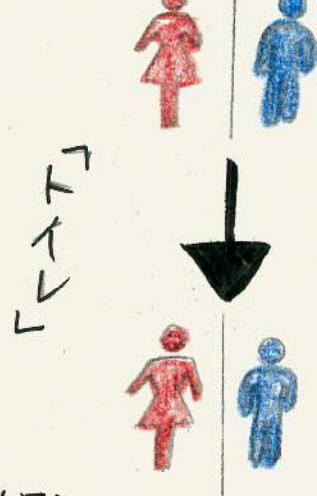
国・セキなどにかかわらず全ての人がある暮らしやすいように「ものづくり」「環境づくり」「まちづくり」を行っていこうという考え方のこと。

「ユニバーサルデザイン」とは?

障がい者や高齢者等の社会的弱者が、生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策を目指す用語で、元々「バリア」があるものを取り除いて「フリー」にするという意味。

「心のバリアフリー」とは?

物や施設などのハード面のユニバーサルデザインは整備されたとしても、サービスを提供する人の「心のやさしさや思いやり」がなければ、本当の意味でのユニバーサルデザインにはなりません。気分や配慮、思いやりの心では対応する二点が大切



(英語) Toilets
(韓国語) 희장실
(中国語) 洗手間
洗 手 间
国の言語
で表記され
ていて分かり
やすい。

「トイレ」
↓
「ナワカナ」



「外国人には、
「ナワカナ」と
解釈される。」



「温泉」
↓
「マーチ」
「案内所・情報コーナー」のマーク



「外国人には、温泉や料理を出す施設とまちがえられてしまう。」



「外国人には、「マーチ」が分からなくて、案内所・情報コーナー」のマーク

「外国人のための改善されたピクトグラム」

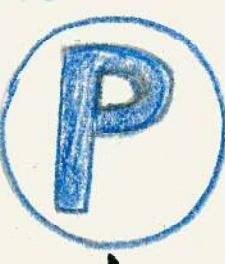
私が今注目したのは、日本では外国人向けのユニバーサルデザインです。日本人には、あたりまえに分かる人が、海外の人は、分かりにくいということが理解でき、改善できると思うのは、すごいと思いました。

なぜピクトグラムは変更されるのか?

海外からの観光客や2020年の東京オリンピックで日本に来日した海外の選手に、分かりやすいうようにするため。

最近では、ピクトグラムの他に音声で説明されるエレベーターなどもあり、じわじわユニバーサルデザインは全ての人のためのデザイン

という二点で様々な所で活躍をしています。



「駐車場」



ピクトグラムや道路標識は、表したい意味によって異なる。△、□など形を変えて表している!

豆知識

物や施設 + 思いやりややさしさ